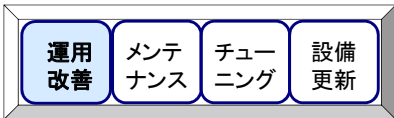


# 給排気ファンの間欠運転



- 地下駐車場の給排気ファンを稼働状況※(出入庫台数)に合わせて間欠運転することで節電になります。  
(※出入庫台数≠駐(停)車台数 ⇒ 排ガス量に合わせる)

## 試算例

10時～20時の間、給排気ファンを間欠運転すると...

■ 節電効果 : **節電効果 286万円/年** 【業務用電力単価を適用】  
**節電電力 約 40.0kW**  
**節電電力量 約 146,000kWh**

■ 対策内容 : 1時間のうち20分運転, 40分停止

■ 計算式 : 節電電力 (kW) = 定格消費電力 × 削減率  
 節電電力量 (kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

定格消費電力: 60kW (ファン風量: 40,000m<sup>3</sup> × 4台 [給気 × 2, 排気 × 2])  
 ⇒ 駐車場高さ: 4m, 換気回数: 10回と仮定  
 削減率: 66.6% (仮定: 20分運転/40分停止)  
 対象時間: 10時間/日 (10:00~20:00)  
 対象日数: 365日/年  
 稼働率: 100% (仮定: 連続運転)

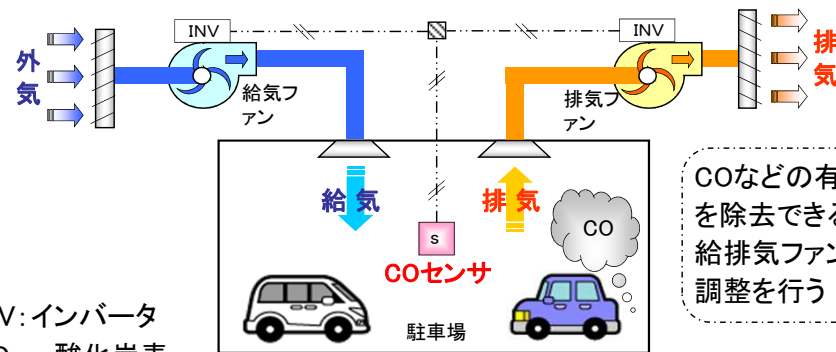
## ポイント

- 換気回数は、駐車台数ではなく入れ替え台数により定まるので、状況に応じた間欠スケジュール設定をお願いします。
- 稼働状況の把握が難しい場合は、COセンサを設置した自動制御運転をおすすめします。

## 参考



地下駐車場換気設備(例)



※INV: インバータ  
 CO: 一酸化炭素

【参考】CO濃度管理による  
 ファンインバータ制御イメージ  
 (自動制御運転)

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます